

LikeMe横浜大倉山スペース
 児童発達支援_自己評価結果 (2022年度)

| | はい | どちらとも いえない | いいえ |
|---|----|---------------|-----|
| 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか？ | 4 | 0 | 0 |
| 職員の配置数や専門性は適切であるか | 4 | 0 | 0 |
| 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ、バリアフリーや情報伝達の配慮が行われているか | 2 | 2 | 0 |
| 室内の設備等は、子どもが怪我をせずに、安心して過ごせる配慮がなされているか | 4 | 0 | 0 |
| 業務の改善に向けて、広くスタッフが参画しているか | 2 | 2 | 0 |
| 保護者からの意向や評価表等を活用して、業務改善を行っているか | 2 | 2 | 0 |
| 職員の資質の向上を行うために、研修などの自己研鑽の機会を確保しているか | 3 | 1 | 0 |
| 子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成しているか | 3 | 1 | 0 |
| 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 3 | 1 | 0 |
| 活動が固定化しないように工夫しているか | 4 | 0 | 0 |
| 授業終了後、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 2 | 0 |
| 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて、個別支援計画を作成しているか | 3 | 1 | 0 |
| 支援開始前には、職員間で適宜打ち合わせを行い、その日に行われる支援内容や役割分担について確認しているか | 3 | 1 | 0 |
| 支援終了後には、支援の振り返りや児童の様子との共有などを行っているか | 2 | 1 | 1 |
| 日々の支援内容を記録し、支援の検証や改善に繋げているか | 4 | 0 | 0 |
| 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 0 | 0 |
| 他機関と児童に関するケースワーク会議等が行われる際、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか | 3 | 1 | 0 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学校との情報共有や連絡調整を適切に行っているか | 2 | 2 | 0 |
| 移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 1 | 2 | 1 |
| 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 0 | 2 |
| 障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | 0 | 3 |
| 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | 0 | 0 |
| 運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | 0 | 0 |
| 保護者からの子育ての相談に応じ、必要な助言や支援等を行っているか | 4 | 0 | 0 |
| 子どもや保護者からの苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に適切に対応しているか | 3 | 1 | 0 |
| 保護者や子どもに対して、活動内容や行事予定等の発信を行っているか | 4 | 0 | 0 |
| 個人情報に十分に注意しているか | 4 | 0 | 0 |
| 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | 1 | 0 |
| 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 0 | 4 | 0 |
| 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか | 0 | 1 | 3 |
| 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 2 | 1 | 1 |
| どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載し | 0 | 2 | 2 |
| 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 1 | 0 |
| 事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 4 | 0 | 0 |